



NPO Honokuni
Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 110 穂の国森づくりの会

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail: honokuni@honokuni.org
https://www.honokuni.org/

現在、自然林の再生活動は、全国各地で行われています。その数は果たして何百箇所、いえいえ何千箇所になるでしょうか。

本誌でも何度か紹介していますが、当会も自然林再生パイロット事業を段戸国有林内(設楽町)と豊橋国有林内(豊橋市)の2箇所で行っています。(段戸国有林での活動は下記をご参照ください)

自然相手の活動のため試行錯誤の日々が続いていますが、多くの方々にご支援を頂き、幸いなことに今のところ大きな問題はなく、森はすくすくと成長しています。しかし森の年齢としては、まだまだ子どもの段階。立派な自然林に成長するまであと何年かかるのでしょうか。気の遠くなる話です…

(もりみの)

穂の国みんなの森活動20年のあゆみ

「穂の国みんなの森」は、今年で活動を始めて20年となります。愛知県設楽町の西部に位置する「みんなの森」は、林野庁の「ふれあいの森」制度に基づいて協定を結び、平成13年から活動を開始しました。

この活動は、2.39haのヒノキ伐採跡地のフィールドを、隣接する段戸裏谷原生林「きららの森」と同じ森林構造の極相林を、人工的に短期間で造るというものです。

活動の趣旨に賛同した森林ボランティア有志により「穂の国みんなの森クラブ」が発足し、勉強会や現地視察を重ねたうえで、活動がスタートしました。ヒノキ林伐採で出た残材を片付けたり地寄せをしたのち、森全体を263のパッチ(1パッチおよそ100㎡)に区分けし、尾根や谷筋などの位置条件により樹種構成を変えたうえで植栽を行いました。

活動は、4月から11月まで原則週2回行っています。事務局のある豊橋からは片道60数km、2時間ほどかかりますが、不思議と通い始めると距離も時間もさほど苦にならなくなり、行くのが楽しみになってきます。まだ寒さの残る4月、雨に悩まされる梅雨時、灼熱の夏、清々しい秋。1年を通して作業には事欠きませんが、内容は20年という歳月によりかなり変わってきました。遮るものがなく容赦なく照り付けていた日差しも、立派に成長した「みんなの森の仲間(木々)たち」が木陰を提供してくれるようになりました。

平成17年より8ヶ所のモデルパッチを設定し、毎木調査を開始しました。しかし、当初簡単だった調査も、年を追うごとに大変に



▲ モデルパッチ等の位置



2001年



2020年

▲ 定点からみた森の変化の様子

なってきました。「仲間たち」の成長に伴い樹高を測るのに苦労するようになってきたのです。また、成長により林冠が閉鎖され、樹木間の競争も激しくなり枯死するものが始まりました。と同時に、ニホンジカによる樹皮の食害や枝折が続発し、被害は後を絶ちません。

現在、モデルパッチ以外でも胸高直径の調査を進めています。その結果、令和2年の太い子No1はクリの木の26.9cmでした。樹高も10mを超えるものも多くなり、森全体が鬱蒼としてきました。

20年という時を経て、「みんなの森」は素晴らしいフィールドになりました。豊川の源流の一つもあり、心から癒される場所へと変貌を遂げました。皆さんも一度現地を訪れ、心地よい空間に浸ってみませんか?

「森」は、皆さんお越しを心待ちにしています。

(by 溪)

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介します

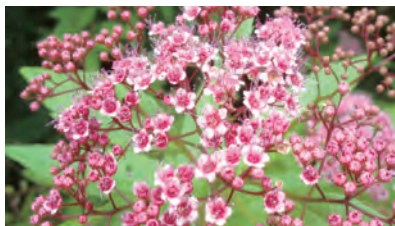
その19
「茶臼山」

中西 正

茶臼山高原自然観察ハイキング 2009.7.11

愛知県側の茶臼山高原は大きく3つのゾーンに分かれるのではないだろうか。一つはリフトが架けられている萩太郎山(1358m)、もう一つは茶臼山(1415m)本体で、ここには多くのハイキングコースが設定されている。そして3つ目は矢筈池や牧場を含めた周辺の高原地域。今回はこのすべてを回っての観察であった。どこも見通せるまとまった地域であるが、高低差もあり結構ハードな、しかし見るものは豊かな場所であった。講師は神戸敦先生だった。

まず萩太郎山に向かった。萩太郎山は花の山である。5月には頂上付近はシバザクラが咲き誇り天空の回廊と呼ばれる。そのころは多くの人リフトで上がるが、今回われわれは野草園と称する夏のスキー場を足で登ってゆく。時期がちょうどよかったと思われるその草原には多くの花が咲いていた。ニッコウキスゲはユリ科の黄色い花でちゃんと立



▲ シモツケソウ

つ。シモツケソウは赤い小さな花をたくさんつけたバラ科の植物。これは固まって藪状になって生えている。オオバギボウシは大きな葉で、そこから長い花茎を伸ばし、丸くて薄紫の花を段々につけている。やや湿った土地を好むのではないだろうか。ニッコウキスゲとともに高山植物として有名なアカバナ科のヤナ



▲ オオバギボウシ



▲ ニッコウキスゲが咲く萩太郎山（正面は茶臼山）

ギランも咲いていた。広くはススキのようなイネ科植物の草原である。野草園は一種のお花畑とみていいが、栽培されているものであることを忘れてはいけないだろう。

茶臼山では、頂上を目指さず南斜面の森を歩く。ミズナラを含んだ二次林でアブラチャン、シロモジ、オオイタヤメイゲツなどの落葉広葉樹でできている。木にはイワガラミやヤマブドウなどのつる植物が絡みついている。イワガラミはアジサイの仲間で、装飾花はがくが1枚だけだ。草本にはカワチブシ、ユキザサ、エンシュウツリフネなどが生えている。カワチブシはいわゆるトリカブトで、花はきれいだが毒がある。ユキザサは葉がササに似たユリの仲間で、ブナの林の構成種だ。エンシュウツリフネはツリフネソウより弱々しい。ここは、高低差が少なく、観察にはいい道だ。



▲ ヤナギラン



▲ イワガラミ

木の皮がはがれているものがあつた。特にリョウブではそれがよく見られた。これはシカの食害で、草本でも喰い揃えられた場所もあつた。この地域もシカが増え、植生に影響するほどになっているようだった。開けた芝地にはイノシシが耕した場所が数多く見られた。この害も深刻になっているようだった。町場に住む我々にとって、県の最高点は完全な自然地域と考えてしまう。しかし、このような場所で、自然のかく乱が起きていることを認識させられた。(この地区においては、2011.9.11、2016.10.16も同様のテーマで観察会を行った)



「森づくりベンダー」の寄付を活用した事業

飲料1本購入時に数円が当会に寄付される、自動販売機「森づくりベンダー」。現在、豊橋市と豊川市、蒲郡市の下流域の3市で計23台（令和3年3月現在）、団体企業会員さんを中心に設置のご協力をいただいています。豊川上流の景色に「穂の国森づくりの会」の名前がラッピングされた自動販売機です。会社内や工事現場などに設置されている場合が多く、道沿いで見かける台数は少ないのですが、ご覧になったことがある方はどれくらいいらっしゃいますでしょうか。

1本数円ですが、年間でするとなんと約80～90万円の金額になり、当会の大変貴重な活動資金になっています。この資金を活かして主に以下のような事業を行っています。

1. 自然林再生事業（穂の国みんなの森、穂の国石巻の森）

本誌の1ページでも紹介しましたが、段戸国有林内（設楽町）で、ブナ、ミズナラなどにモミ、ツガの常緑針葉樹が混じった落葉広葉樹林の自然林を再生する「穂の国みんなの森活動」を行っています。

また、豊橋国有林内（豊橋市）ではシヤタブ、カシ類

などの常緑広葉樹を中心とした自然林再生活動にも取り組んでいます。

2. 森林環境教育支援事業

豊川市内の小学校の野外活動を森林インストラクター会「愛」や設楽町のボランティアガイド他と協働で支援しています。

また、小中学校、高等学校に出向き森林保全の重要性を伝える出前事業を関係機関と連携して実施しています。

両事業ともに、豊川流域圏の水源の森と生物多様性を保全する当会の主力事業であり、国連が定めたSDGsの目標でもあります。ご支援を頂いている皆様のご期待に応えられるよう全力で頑張っています。

また、「森づくりベンダー」設置にご協力をいただける企業・団体さんを随時募集しております。詳しくは、当会の事務局までお問い合わせください。

TEL.0532-55-5272

E-mail honokuni@honokuni.org

ウッドパーク平尾の生き物 ～トンボを中心に～（その2）

初夏を代表するトンボ サナエトンボ

5月の初夏の季節になると、サナエトンボの仲間たちを見かけるようになります。「サナエ」の名前は、田植え直後の「早苗」の景色が里地に広がるころ、その姿を見せ始めることに由来します。

サナエトンボの特徴は、ほとんどが黒色と黄色の模様で、頭部の左右の複眼（ふくがん）が離れています。また、種によって体長の差が大きく異なります。

ウッドパーク平尾では、5月中旬ごろになると「ヤマサナエ」（写真1）というやや大型（約60～70mm）のサナエトンボを見かけます。名前だけで想像すると、山奥でしか観察できないのではないかと考えてしまいますが、実は豊橋市の市街地でも見かけることがある身近なサナエトンボです。

また、ヤマサナエと同時期に中型の「ホンサナエ」（写真2）を見かけることが稀にありますが、ヤゴが見つからないので他の場所から飛来してくるようです。

続いて6月中旬ごろになるとオニヤンマに似た大型（約80～90 mm）の「コオニヤンマ」（写真2）が現れます。「ヤンマ」という名前がついていますが、ヤンマの仲間ではなくサナエトンボの仲間です。ヤンマという名前がつくサナエトンボはもう一種見かけることがあります。やや大型の「ウチワヤンマ」（写真1）というサナエトンボで、腹部の最後尾付近がウチワ状に膨らんでいるのが特徴です。ウッドパーク平尾でも7～8月に見か

けることがありますが、基本的に池や湖に生息するトンボなので、おそらく近くのため池から飛来してくるものと思われます。

6月下旬ごろになると、「オジロサナエ」（写真2）という小型（40～50 mm）サナエトンボがウッドパーク平尾の横を流れる沢沿いに現れます。個体数は多いのですが、小さくてすばしっこく、つい見逃してしまいます。

郊外の里地に行けばよく観察できるサナエトンボたちですが、知名度が低いのはなぜでしょうか…



イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272



はじめての森づくり体験講座 in 穂の国石巻の森

場 所：穂の国石巻の森（豊橋市石巻町）
集 合：午前10時に「穂の国石巻の森」前の広場
解 散：午前11時半に「穂の国石巻の森」前の広場
対 象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）
定 員：15名（申込み順、ただし会員優先）
内 容：除伐（樹々で混みあった林内を整備します）
持ち物：飲料（多めに）、軍手、タオルなど
その他：雨天中止（小雨でも）
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を事務局へご連絡ください。

定期活動やっています！

「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日（5月15日は中止になりました）

令和3年度：6月19日、7月17日、8月21日、9月18日

集 合：午前10時にウッドパーク平尾
解 散：自由（作業は午前11時半に終了します）
対 象：個人会員（家族可）、団体企業会員
内 容：草刈り作業
持ち物：飲料（多めに）、軍手、タオルなど
その他：雨天中止（小雨でも）
申込み：不要ですが、事前に事務局へ連絡をいただければ有難いです。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止する場合がありますので予めご了承ください。

企業の森づくり応援します!!

- 森林整備の作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林での環境学習会の開催
- 東三河産材を使ったイベントの企画
- 森林を活用した社員研修など

簡単な質問でも結構です。
事務局までお気軽にお問い合わせください。

一緒にSDGsに 取り組みませんか？



会社・団体としてSDGsに取り組みたい。
でも、何から始めたらいいのかわからない。
穂の国森づくりの会では、多くの企業・団体と
協働でSDGsに取り組んでいます。
詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。



東海交通株式会社
URL <http://www.tokaikotsu.co.jp>

タクシーご利用は **0532-57-1111**



Sun Agri Foods

株式会社サンアグリフーズ

**私たちと一緒に森へいきませんか？
穂の国森づくりの会会員大募集!!**
<https://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも
会員になることができます。
会費：個人会員1口・3,000 円／団体企業会員1口・12,000 円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail honokuni@honokuni.org